

第19回HL7セミナーのご案内(東京、7月15日)

- **日時:** 平成17年 7月 15日(金)14:00 から17:30まで(受付開始13:30)
※13:00から14:00までは同会場にて日本HL7協会通常総会が開かれます。
※17:30以降は懇親会です。参加無料(事前登録要)ですので、お気軽にご参加下さい。

- **会場:** 全国家電会館 5F大講堂
東京都文京区湯島 3-6-1 TEL03-3832-4291

- **主催:** 日本HL7協会

- **内容:** (司会:情報教育グループリーダー 村上英)

1. CDISCについて 40分

日本HL7協会技術委員会 金沢大学医学部附属病院 古川裕之先生

【概要】日本でも一部で開始されているEDC(Electronic Data Capturing), 3月のUSA視察調査の報告など, 治験実施医療機関サイドから見た最新の動きを紹介いたします。

2. 初心者向けの導入 20分

日本HL7協会技術委員長 浜松医科大学 木村通男先生

【概要】なぜこの分野に標準化が必要なのか、そしてV.2シリーズをごく簡単に紹介いたします。

3. HL7の最新動向 -- 経産省・厚労省の動き 30分

日本HL7協会技術委員長 浜松医科大学 木村通男先生

【概要】厚生労働省の標準的電子カルテ関連、経済産業省の相互運用性実証事業関連など、国内の動きを中心に紹介いたします。

4. HL7とISO TC215 20分

日本HL7協会技術委員会 日本光電工業(株) 平井正明氏

【概要】医療情報国際標準化に関してISO/TC215の活動が活発です。その中でもHL7の役割が重要で多くの作業が共同して行われています。こういった活動が行われているか紹介いたします。

5. HL7 V2 ER7/XMLとHL7 V3 XML 40分

日本HL7協会技術委員会 日本光電工業(株) 平井正明氏

【概要】HL7初心者向けに、V2はどういうものか、いわゆるER7によるメッセージの記述、V2のXML記述、V3のモデル化による考え方とXML開発手法などをご紹介します。

6. CDA R2 FAQの紹介 40分

日本HL7協会情報教育グループリーダー 東芝住電医療情報システムズ
村上英氏

【概要】相互運用可能なEHRの構成要素として注目されている診療文書の国際標準HL7CDA R2とはどのようなものか、HL7 SDTCが公開しているFAQをご紹介します。

※会場にて「HL7V3入門」の会員向け特別販売もいたします。この機会をお見逃しなく。

- **参加費:** 日本HL7協会会員は無料 一般5,000円(当日会場で申し受けます)

- **申込み方法:**

<http://www.jahis.jp/hl7/> の受付フォームから氏名、所属/会社名、所在地、

会員または非会員(会員は会員番号記入)、e-mail アドレス、電話/FAX番号など
必要事項をご入力の上**7月13日までにお申し込み下さい**。定員(120名)になり次
第締め切らせて頂きます。 ※受付フォームは既に利用可能です。

■ **お問合せ先／事務局：**

東京都港区虎ノ門1丁目19-9(虎の門TBLビル6F)〒105-0001

保健医療福祉情報システム工業会内 日本HL7協会事務局

TEL(03)3506-8010 FAX(03)3506-8070 担当 [蛭名](#)